

支倉常長フェロー報告書

提出日 年 月 日



申請者	氏名	松田 謙
	所属・職	宮城地域医療支援寄付講座
出張期間	H24年 6月 24日 ~ 6月 28日	
渡航先	アメリカ (ヒューストン)	
渡航目的	学会参加 共同研究のための留学・()	
発表演題名あるいは共同研究課題名	Telmisartan Stimulates Aldosterone Synthase Gene(CYP11B2) Expression via the CaMK-mediated Induction of NURR1	

得られた成果など

お陰様でこの度、アメリカテキサス州 ヒューストンで行われたアメリカ内分泌学会 (ENDO 2012) に参加させて頂くことができました。アメリカ内分泌学会はヨーロッパ内分泌学会と並び、内分泌分野では最大規模の学会として知られ、様々な研究機関から幅広く内分泌領域の発表が行



われております。このような大きな学会で自分が行ってきた研究について発表を行うことができたことは大変貴重な経験となりました。

私は Telmisartan Stimulates Aldosterone Synthase Gene(CYP11B2) Expression via the CaMK-mediated Induction of NURR1 という内容で発表を行ったのですが、チェアマンを行って頂いたアメリカの Gordon H Williams 先生からは私の研究内容が実際に臨床レベルでも再現されるのかとの質問を頂き、今後私が行ってきた細胞レベルの研究を進展させ個体レベルでも検討を行う必要性を感じました。

また発表会場がアルドステロンのセッションであった事もあり、他の研究機関で行われているアルドステロン研究を拝聴することができました。特に高濃度のグルコースがミネラルコルチコイド受容体の安定性を誘導するといった内容の研究は私の研究室で行われている研究と関連があることもあり大変興味深かったです。

本学会に参加できたことにより、有益な知見や様々な刺激を得て日本に戻ってくることができました。今後はこれらの経験を日々の研究ならびに臨床に還元していきたいと考えております。このような機会を与えて下さいましたことに改めて感謝いたします。